【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成25年10月31日(2013.10.31)

【公開番号】特開2012-78592(P2012-78592A)
【公開日】平成24年4月19日(2012.4.19)
【年通号数】公開・登録公報2012-016
【出願番号】特願2010-224251(P2010-224251)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　23/24　　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　 1/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　23/24　　Ａ
Ａ６１Ｂ　 1/00　３２０Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成25年9月13日(2013.9.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
湾曲管の端部に対して該端部内に配管が固定されることにより段差が形成された構成を有する管路内に対して挿入される内視鏡挿入補助具であって、
挿入方向に沿って細長であって、前記管路よりも小径であるとともに前記挿入部よりも大径な、内部に内視鏡の挿入部が挿通自在なコイルと、
前記コイルにおける前記挿入方向の先端側に位置する、前記挿入方向の前後に圧縮自在な第１の圧縮部と、
前記コイルにおける前記第１の圧縮部よりも前記挿入方向後方に位置する非圧縮部と、
前記管路よりも小径であるとともに前記コイルよりも大径な、前記湾曲管から前記配管に前記コイルを進行させる際、前記第１の圧縮部の前記挿入方向の先端が前記段差に接触された状態において前記湾曲管に接触される前記第１の圧縮部の位置に設けられた拡径部と、
を具備し、
前記第１の圧縮部は、前記拡径部よりも前記挿入方向の先端側に突出する突出部を有しており、前記突出部の前記挿入方向の先端が、前記第１の圧縮部の前記先端を構成していることを特徴とする内視鏡挿入補助具。
【請求項２】
前記コイルにおける前記第１の圧縮部よりも前記挿入方向の基端側であって、前記非圧縮部よりも前記先端側に、前記挿入方向の前後に圧縮自在な、前記第１の圧縮部よりも圧縮率が小さい第２の圧縮部が位置していることを特徴とする請求項１に記載の内視鏡挿入補助具。
【請求項３】
前記拡径部は、前記湾曲管から前記配管に前記挿入部を進行させる際、接触する前記湾曲管を支点として前記コイルの前記先端側への押し込みに伴い回動し、前記コイルの進行を妨げる前記突出部の前記先端における前記段差への接触が解除されることを特徴とする請求項１または２に記載の内視鏡挿入補助具。
【請求項４】

前記第１の圧縮部の前記挿入方向の長さは、前記湾曲管の管路長と同じに設定されていることを特徴とする請求項１～３のいずれか１項に記載の内視鏡挿入補助具。
【請求項５】
前記拡径部の最大径部の位置は、前記第１の圧縮部の中心位置より前記挿入方向の先端側に位置することを特徴とする請求項１～４のいずれか１項に記載の内視鏡挿入補助具。